



青年教育センター

消防署庁舎

あたらしい 施設の紹介

市内に青年教育センターと消防署庁舎というふたつの新しい施設が完成しましたので、この施設を写真で紹介してゆきます。

▼ 仮眠室・消防署庁舎

ベッドのある写真は職員が仮眠するへやで、ここには20人分のベッドがあります。下の写真は消防署庁舎の全景です。

青年教育センター

60人が宿泊して研修できる同センターは、ライスプラントわきの敷き地1,538㎡に総工費6,373万円をかけて建てたものです。このセンターが研修の場としての大きな力を発揮するかどうかは、みなさんが利用するか、しないかにかかっています。大いに利用しましょう。

▷利用の方法 青少年や青少年の関係機関、団体しか利用できませんが、体育館、談話室、図書資料室は個人でも利用できます。

そして団体に利用する場合は、25日前までに申請書を出し、個人で利用する場合はそのつど受付に名まえを書いてから使ってください。

▷休館日 日曜日と国民の祝日、12月28日から翌年の1月5日まで。

▷開館時間 午前9時から午後5時まで。

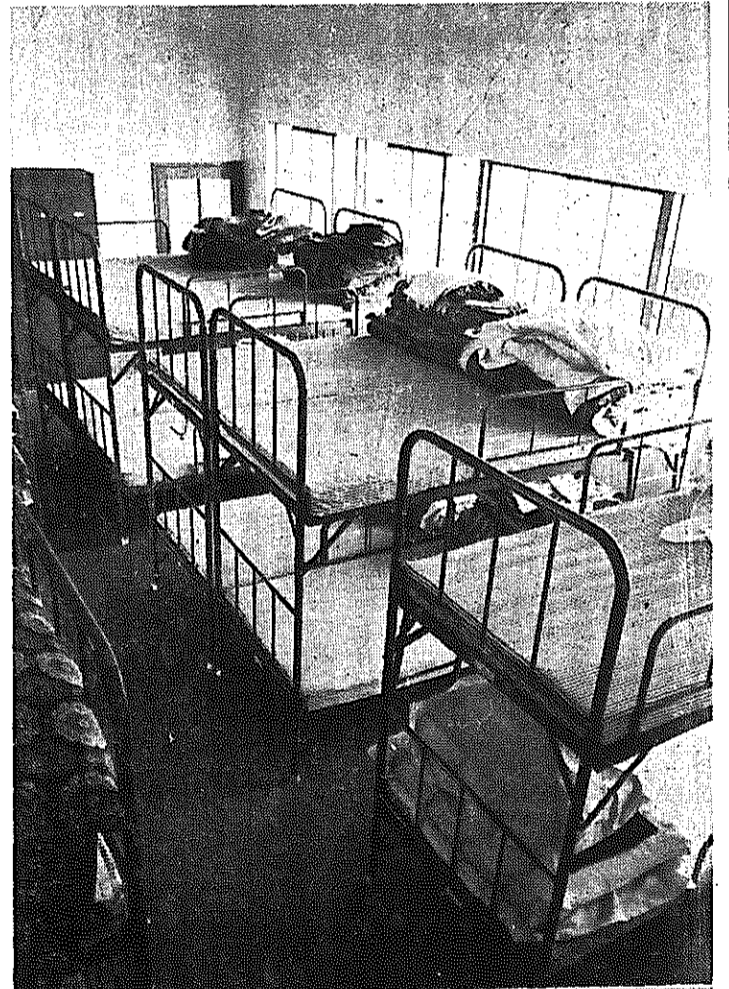
▷使用料 無料

消防署庁舎

総工費1,934万円で、大字能登地内(旧星野製作所跡)に建てられたものです。

この庁舎は、7月1日から1市3か村(白根市、中之口村、月潟村、味方村)の組合立として発足する「1市3村消防事務組合」の庁舎として使われます。

なお消防署の電話番号は、7月1日から72-3111番に変わります。

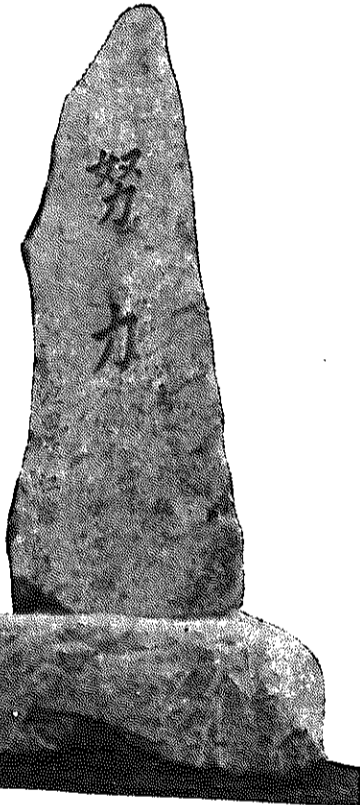


碑文

この石碑は、青年の家を築くうと白根市勤労青年学級に学んだ仲間達が、小さな善意を集めお互いの信頼と友情のなから郷土の躍進に努力することを誓い、その意志を永遠に残すため白根市青年教育センターの竣工を記念して、私たちの手によって建立いたしました。

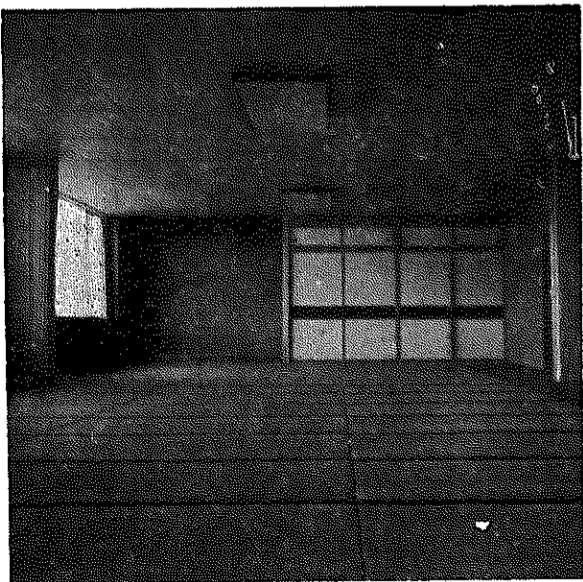
昭和四十四年六月一日

勤労青年学級 きんよう会



▲ 石 碑

これは勤労青年学級と、きんよう会が寄贈したもので、大きな石碑には「努力」の文字が刻まれています。この文字を書いた人は、同学級生の池田幸江さんです。



▲ 研 修 室

このへやのほか、和室の研修室四つといす席の研修室ひとつがあり、全部で六つの研修室があります。

